

電子回路

振動の発生, 直接のまたは周波数変換による振動の発生, スイッチング動作を行なわない能動素子を用いた回路による振動の発生; このような回路による雑音の発生 (電気機械的手段による楽器に特別に適合する発振器 G10H; メーザまたはレーザ H01S; プラズマにおける振動の発生 H05H)

サブクラス内の索引

周波数変換によらない発生.....
 増巾と帰還による手段; 負性抵抗 5/00;7/00.....
 電子走行時間による手段; 電子ビーム管 9/00;13/00.....
 衝撃励振によるもの; ホール効果; 放射源と検出器の組み合わせ 11/00;15/00;17/00.....
 周波数変換による発生.....
 信号の通倍または通降によるもの 19/00.....
 非変調信号の結合によるもの 21/00.....
 発生した振動の特殊性.....
 周波数範囲の掃引; 多重周波数; 多重位相; 雑音 23/00;25/00;27/00;29/00.....
 その他の発生方法 28/00.....
 細部 1/00.....
 1/00 細部
 B 監視に関するもの
 D 調整に関するもの
 E 構造に関するもの
 Z その他のもの
 1/02 ・電力発振器, 例. 加熱用発振器, の構造上の細部 (電磁界による加熱のための発振器 H05B6/00)
 1/04 ・不要発振, 例. 高調波, の低減
 5/00 出力から入力への再生帰還による増幅器を用いた振動の発生 (H03B9/00, H03B15/00 が優先)
 A 帰還路に熱, 光等を利用する手段を挿入したもの
 B 位相の異なる複数の帰還信号を合成し, 周波数を決定するもの
 Z その他のもの
 5/02 ・細部
 A 他の機能を持たせるための発振器の変形
 B 機械的構造に特徴があるもの
 C 二つ以上の発振回路方式の組合せに特徴があるもの
 D 出力回路に特徴があるもの
 Z その他のもの
 5/04 ・・物理的な値, 例. 電源, 負荷, 温度, の変化を補償するための発振器の変形
 A 負荷の変化を補償するためのもの
 B 温度の変化を補償するためのもの

C ・LC 発振器の変形
 D ・分布定数発振器の変形
 E ・CR 又は LR 発振器の変形
 F ・電気機械的振動子を用いた発振器の変形
 G 電源の変化を補償するためのもの
 Z その他のもの
 5/06 ・・発振の起動を確実にするための発振器の変形 (発生器の起動 H03L3/00)
 5/08 ・周波数決定素子が集中定数インダクタンスと集中定数キャパシタンスとからなるもの
 A 発振出力周波数を可変, 調整する構成に特徴があるもの
 B 発振出力振幅を可変, 調整する構成に特徴があるもの
 C 用途に応じた発振器の変形に特徴があるもの
 Z その他のもの
 5/10 ・・増幅器の能動素子が真空管であるもの (H03B5/14 が優先)
 5/12 ・・増幅器の能動素子が半導体装置であるもの (H03B5/14, H03B7/06 が優先)
 A トランジスタを複数個用いるもの
 B ・差動増幅器を用いるもの
 C FET を 1 個用いるもの
 D バイポーラトランジスタを 1 個用いるもの
 E ・発振出力周波数を可変, 調整する構成に特徴があるもの
 G ・・電圧制御可変容量素子を用いるもの
 F ・発振出力振幅を可変, 調整する構成に特徴があるもの
 Z その他のもの
 5/14 ・・周波数決定素子がブリッジ回路を経て信号が伝送される閉ループに結合されているもの
 5/16 ・・・増幅器の能動素子が真空管であるもの
 5/18 ・周波数決定素子が分布定数インダクタンスと分布定数キャパシタンスとからなるもの
 A 同軸共振器を用いるもの
 B 空洞共振器を用いるもの
 C ストリップ線路共振器を用いるもの
 D 誘電体共振器を用いるもの
 E 強磁性体材料を用いるもの
 Z その他のもの
 5/20 ・周波数決定素子が抵抗とキャパシタンスまたはインダクタンスのいずれか一方とからなるもの, 例. 位相発振器
 A 発振出力周波数を可変, 調整する構成に特徴があるもの
 B 発振出力振幅を可変, 調整する構成に特徴があるもの

H03B

Z	その他のもの				用いた振動の発生 (H03B9/00 が優先)
5/22	・増幅器の能動素子が真空管であるもの (H03B5/26 が優先)	7/02			・集中定数インダクタンスと集中定数キャパシタンスとからなる周波数決定素子を有するもの
5/24	・増幅器の能動素子が半導体装置であるもの (H03B5/26 が優先)	7/04			・能動素子が真空管であるもの
5/26	・周波数決定素子が、信号が伝送される閉ループ中のブリッジ回路の一部であるもの; 周波数決定素子がブリッジ回路を経て、上記閉ループに結合されているもの、例. ウィーンブリッジ発振器, 並列 T 型発振器	7/06			・能動素子が半導体装置であるもの
A	発振出力周波数を可変, 調整する構成に特徴があるもの	7/08			・トンネルダイオードであるもの
B	発振出力振幅を可変, 調整する構成に特徴があるもの	7/10			・能動素子がガス放電管またはアーク放電管であるもの
Z	その他のもの	7/12			・分布定数インダクタンスと分布定数キャパシタンスとからなる周波数決定素子を有するもの
5/28	・増幅器の能動素子が真空管であるもの	7/14			・能動素子が半導体装置であるもの
5/30	・周波数決定素子が電気機械的振動子であるもの	9/00			走行時間効果を用いた振動の発生 [2]
A	弾性表面波発振器	9/01			・電子管を用いるもの [2]
B	電気機械的制御発振器 [主に音叉振動子を使うもの]	9/02			・遅延電磁界電子管を用いるもの (クライストロンを用いるもの H03B9/04) [2]
C	・振幅の調整	9/04			・クライストロンを用いるもの [2]
D	・周波数の調整	9/06			・反射型クライストロンを用いるもの [2]
E	・起動の調整	9/08			・進行波管を用いるもの [2]
F	・温度補償	9/10			・マグネトロンを用いるもの [2]
G	超音波発生装置	9/12			・固体装置を用いるもの, 例. ガン効果装置 [2]
Z	その他のもの	9/14			・分布インダクタンスとキャパシタンスとを構成する素子をも用いるもの [3]
5/32	・圧電気振動子であるもの	11/00			衝動励振同調回路を用いた振動の発生 (帰還をもつもの H03B5/00)
J	水晶発振器	11/02			・スパークにより励振されるもの
A	・温度補償	11/04			・断続器により励振されるもの
B	・電子時計装置の温度補償	11/06			・機械的断続器によるもの
C	・振幅の調整	11/08			・断続器が電子管であるもの
D	・起動・出力の調整	11/10			・断続器が半導体装置であるもの
E	・発振周波数の調整	13/00			陰極線管中の電子ビームの偏向を用いた振動の発生
F	・複数振動子の切替によるもの	15/00			電流磁気効果装置, 例. ホール効果装置, スピントランスファー効果を用いた装置, 巨大磁気抵抗を用いた装置, または超伝導効果を用いた振動の発生
G	・オーバートーン, 発振	17/00			放射源と検出器とを用いた振動の発生
H	・構造	19/00			別個の発生源からの信号周波数の非再生的, 逡倍または逡降による振動の発生
Z	その他のもの	19/03			・非線形インダクタンスを用いるもの [3]
5/34	・増幅器の能動素子が真空管であるもの (H03B5/38 が優先)	19/05			・非線形キャパシタンス, 例. バラクタダイオード, を用いるもの [3]
5/36	・増幅器の能動素子が半導体装置であるもの (H03B5/38 が優先)	19/06			・2 以上の電極をもつ電子管または半導体装置によるもの
5/38	・周波数決定素子がブリッジ回路を経て信号が伝送される閉ループに結合されているもの	19/08			・電子管によるもの
5/40	・磁わい振動子であるもの (H03B5/42 が優先)	19/10			・逡倍のみを用いるもの
5/42	・周波数決定素子がブリッジ回路を経て、信号が伝送される閉ループに結合されているもの	19/12			・逡降のみを用いるもの
7/00	2 つの電極間に負性抵抗をもつ能動素子を用いた振動の発生 (H03B9/00 が優先)	19/14			・半導体装置によるもの
		19/16			・無制御の整流装置を用いるもの, 例. 整流ダイオードまたはショットキーダイオード

- ドを用いるもの[3]
- 19/18 ・ ・ 分布インダクタンスとキャパシタンス
とを構成する素子をも用いるもの[3]
- 19/20 ・ ・ ダイオードが電荷蓄積またはエンハン
スメント効果を示すもの[3]
- 21/00 相異なる周波数の非変調信号を結合すること
による振動の発生 (H03B19/00 が優先)
[3]
- 21/01 ・ 相異なる周波数の非変調信号間のビート
によるもの[3]
- 21/02 ・ ・ 複数回のビートによるもの, 例. 周波数
合成用[3]
- 21/04 ・ ・ いくつかの似かよった段を用いるもの
[3]
- 23/00 所定周波数範囲を周期的に掃引する振動の
発生
- 25/00 1 個の自励発振器による, 相異なる複数個の
周波数の同時発生
- 27/00 単なる逆相関係の 2 出力ではなくて, 周波
数等しく位相相異なる複数個の出力を与
える振動の発生
- 28/00 正弦波振動を発生するために波形の変形を
含み, かつ, 波形の修正による正弦波状振
動の発生を含み, グループ
H03B5/00-H03B27/00 に包含されない方法
による振動の発生 (計算動作を行うため
のアナログ関数発生器 G06G7/26) [4]
- A デジタル技術を用いる正弦波の発生
- B ・ メモリまたはメモリとカウンタを用いて
振幅を決定するもの
- C ・ カウンタを用いて振幅を決定するもの
- Z その他のもの
- 29/00 雑音電流および雑音電圧の発生 (雑音発生
器として特別に適合する固体陰極をもつ
ガス入り電子管 H01J17/00)